

## 「悪性黒色腫における FDG-PET/CT の有用性に関する研究」へご協力をお願い

ー平成 14 年 1 月～平成 25 年 12 月 31 日までに岡山大学病院にて悪性黒色腫と診断され  
FDG-PET/CT 検査を受けられた方へー

研究機関名 岡山大学

責任研究者 岡山大学病院皮膚科・講師 山崎 修

分担研究者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・皮膚科学分野・皮膚科教授 岩月啓氏,  
岡山大学病院皮膚科・助教 大塚正樹,  
岡山大学病院皮膚科・助教 加持達弥

### 1. 研究の意義と目的

悪性黒色腫（メラノーマ）の患者さんに対する FDG-PET/CT 検査が平成 14 年度から保険適応となり、病期診断や再発・転移診断に活用されています。しかしその適応については、明確なガイドラインはありません。現在までのデータをもとに、有用性を検討することにより、よりよい検査適応基準ができることが期待できます。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象：

岡山大学病院皮膚科で悪性黒色腫と診断され、平成 14 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日の間に  
FDG-PET/CT 検査を受けられた方

#### 2) 研究期間：

平成 26 年 3 月 27 日から平成 27 年 3 月 31 日

#### 3) 研究方法：

現在既に存在する診療情報をもとに、病期別、FDG-PET/CT の臨床的有用性について、後ろ向きに調べ  
ます。

#### 4) 調査票等：

研究資料にはカルテから年齢、性別、腫瘍深達度、病期、治療、経過、PETCT、CT、MRI の検査  
の情報を抽出し使用させていただきますが、個人を匿名化し、コード番号等で行います。

#### 5) 情報の保護：

調査情報は、外部に漏れることがないように、岡山大学病院皮膚科内で厳重に取り扱います。電子情報  
の場合はパスワードで制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存しま  
す。また研究終了後 5 年間は資料を保存いたします。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 皮膚科

氏名：山崎 修

電話：086-235-7282 ファックス：086-235-7283